

「非認知能力」の育成等、 乳幼児の成長・発達をサポート



好奇心を持つ
きっかけを増やす

考えを広げる

考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの?

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

テーマに関する子供たちの
考えやイメージを
引き出すための問いを考え、
素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例： 光 色 自然 音 泥遊び 絵本 など

例
〇〇って
なあに?

楽器を使い
音の振動を
感じるなど

例：音をテーマとした活動の様子

豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、
「非認知能力」を培う
大切な時

非認知能力とは

自己 にかかわる心の力

- ・自尊心
- ・自己肯定感
- ・意欲
- ・粘り強さ

社会性 にかかわる心の力

- ・心の理解能力
- ・共感
- ・思いやり
- ・協同性



とうきょう すくわく プログラム

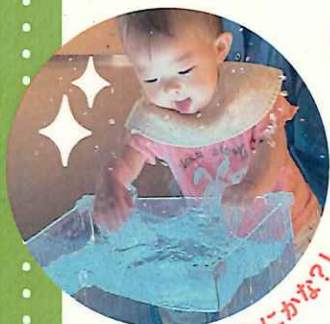
こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

ってなに？

「とうきょう すくわくプログラム」は、幼稚園や保育所において、
子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、
学べるよう応援する取り組みです。

取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった
豊かな心の育ちをサポートしていきます。



「あれ?」「なにかな?」



夢中になって遊び学ぶ



すく
すく

すべての乳幼児の

伸びる・育つ

×

わく
わく

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

楽しく、みんな一緒に!



とうきょう すくわくプログラム

はこちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

だんごむし

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園の地域及び園庭、畑は自然が充実している為、より一層自然への興味や関心を高めたい。また、畑へ行きだんごむしを見つけ、お部屋で観察をしながら何を食べるのか子ども達と一緒に観察していく。

2. 活動スケジュール

令和7年12月10日(水) 1歳児ひよこ組

○畑に行きだんごむし探しを行う。

・土の感触も楽しみにしながら、だんごむしを見つける。

→初めは、野菜の成長を見に行ったが、子ども達が土に触れたりだんごむしの発見を楽しんでいた為、お部屋でも観察を楽しめるようにしていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【素材・道具】

・だんごむしを持ち帰る袋(個人ではなくクラスで1枚)

【環境構成】

・見つけただんごむしを持ち帰り、虫かごに入れて観察出来るようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

畑に行き野菜の観察に行った。行った際にダンゴムシを見つけた為、触ったり観察したりしていった。また、土の感触も味わえるようにしていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

○出発前

・当初はだんごむしは関係なかった為、畑に野菜を見に行くことを伝えると興味を持ち嬉しそうにしていた。

○畑の土

・畑に行くと土に触れて嬉しそうに興味を示していた。

○土の中のだんごむし

・興味を示していた為、もう一つの畑に行き土に触れていった。掘り返すとだんごむしが出てきて嬉しそうに触ったりつかまえたりしていた。

その姿から持ち帰り虫かごに入れて観察をしていくようにしていった。

○だんごむしの食事

・だんごむしが食べる葉っぱを持ち帰り、食べる様子などを観察していけるようにしていった。なんでも食べるだんごむしにキャベツをあげることにした。

子ども達も興味を持ち嬉しそうにあげてくれていた。

○食事の結果

・だんごむしがキャベツの上に載っていたり食べた形跡があった為、子ども達に見せると「あむあむしたねー」と声も聞こえてきた。

キャベツを新しいものに取り替えたり、霧吹きで保育士と一緒に水を上げるなどをしてお世話を楽しんでいた。引き続きにんじんや小松菜など食事の様子を観察し、畑に返しに行く。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

思わぬ事から、土に興味を持ちだんごむしを発見し嬉しそうにする様子が見られた。子どもたちの発見したことを保育士も一緒に楽しみながら行うことで、子ども達を目線に色々と気付けることを感じた。また、小さな発見から子ども達の声などを引き出していくと大きな発見になっていく事を実感することができて良かった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

畑

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園には所有している畑があり、今年は区の畑も借りている為野菜の栽培を行っている。育っている野菜の葉を見たり土に触れる機会を作って興味関心に繋げていきたい。

2. 活動スケジュール

令和8年2月10日(水) 1歳児ひよこ組

○畑の栽培物を観察する

- ・畑で栽培している野菜を観察したり、土に触れ触感を楽しむ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

少人数で畑に行き、混雑なく野菜の観察などを出来るようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

畑に行き育てている野菜の成長を観察する。

野菜の葉に触ったり土に触れたりして自然に興味を持てるようにしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

○出発前

・畑に行って冬野菜を見に行くことを伝え、成長過程に興味を持てるようにする。

○畑到着

・栽培物の前に座り、保育士が葉に触りながら育てている冬野菜について話しをすると子ども達も興味津々で葉に触ろうとしたり土に触れたりする姿が見られた。

・「おおきいね～」などと保育士の言葉を真似して話をする児の姿もあった。

※来月も引き続き畑の観察を行っていく。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・保育士の触り方を見て優しく触れようとする姿が見られた。

・中には土に触れるのをためらったり虫の姿に怯えたりする児の姿も見られたので、引き続き畑に行く機会を作っていくことで自然に親しみを持てるようにしていきたい。

・野菜にも興味を示していたので、給食の際に話をしたりして美味しく食べられるようにしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

だんごむし (2)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

だんごむしを自然に返す事によって自然環境や、生態系への興味、関心を深めていきたい。

2. 活動スケジュール

令和8年1月29日(木) 1歳児ひよこ組

○お世話していただくむしを観察する。

・朝の会でだんごむしを畑に返す事を伝え、最後に観察する。冬にはだんごむしが冬眠する事を説明しなぜ返さないといけないのかを知らせていった。

・畑に行きだんごむしを土に返す。

→子ども達に畑のどこに返すかきき、子ども達がだんごむしを返す所を決められるようにしていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

だんごむしが入った虫かご

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ダンゴムシを観察し土に返すことで春が来た際にダンゴムシや他の虫に興味を持てるようにしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) 1月9日(金)

○朝の会でだんごむしを観察する。

→だんごむしが土に帰って冬眠する事を伝え、暖かくなったらまた会えることを伝える。保育者が春になって暖かくなったらまた会えることを伝えると「また会おうね!」や「ばいばい!」と手を振る姿が見られた。

○畑到着

→日が当たっている所を選び「こら辺にだんごむしを返してあげよう」と言う指で指して「ここにする」と言う子どもの姿が見られた。少し穴を掘ると子ども達も真似して穴を掘る姿が見られた。最後は皆でだんごむしがいるところに向かって手を振る姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

だんごむしとお別れをする際に以前は触る事を嫌がっていた児でもお世話や観察していくうちに触れるようになりお別れの際は触る事が出来るようになっていく子ども達の姿も見られた。また、保育者が冬眠について簡単に説明すると保育者の言葉を真似て「だんごむしさんねるんだね」「また会おうね」等とだんごむしに問いかける姿も見られだんごむしをきっかけに他の虫や自然にも興味を持てるようになった為良かった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

畑(2)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園には所有している畑があり、今年は区の畑も借りている為野菜の栽培を行っている。野菜を植えた当初よりどのように成長をしているのかを触れたり見たりして知り、食べ物や野菜に興味や関心を深める。

2. 活動スケジュール

令和8年1月29日(木) 1歳児 ひよこ組

○畑の栽培物を観察する

- ・畑で栽培している野菜を観察したり、葉に触れ触感を楽しんだり、成長を知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・じょうろ
- ・水

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

前回畑に行った際に見た野菜より成長をしている事に気が付けるようにしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

○出発前

・畑へ行き、前回植えた際に見た野菜がどのようなようになったかを見に行く事を伝え、興味を持てるようにする。

○畑到着

・栽培物の前に座り、保育士が前回見た物である事を話しながら、触れていった。その後、子どもたちも興味を持ち触れていた。

・「おおきくなっているね」と声を掛けると、同じ言葉を繰り返している姿も見られた。

○水やり

・子どもたちが「おおきくなあれ」と声に出し成長を願い、保育士が水撒きを行った。

※引き続き畑の観察を行っていく。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・保育士の触れる様子を見ながら優しく触れていたが、まだ加減が分からずちぎってしまう児もいた為事前に「ちょんちょん」と声にはしていたが、優しくと付け加えた方が良かった。

・前回より葉が増えている事や、ネギの葉の高さが伸びている事を伝えると、「おおきいね」「おっきい?」「おおきくなったねえ」等自分の言葉にしながら、気が付く児もいた様に感じた。

・前回より大きくなっている事を畑についた際に声を掛けていたこともあり、一緒に大きくなってねと思いを込め水を撒く際に感心が持てたように感じる。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

氷

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

水が氷になる仕組みなどを簡単に知り氷に触る事で冬ならではの自然を楽しめる様にしていきたい。また指や手で氷に触る事によってさまざまな感触を楽しんでいきたい。

2. 活動スケジュール

令和8年2月6日(金) 2月9日(月) 1歳児 ひよこ組

○週末にテラスに水の入ったバケツやコップを置く。

→氷が出来る仕組み(水を寒い所に置くと氷になる事)を簡単に伝え氷が出来るように子ども達と一緒にテラスに置きに行く。

○テラスに出て氷を観察する。

→テラスに出て実際に氷が出来ているか見に行く。

○氷を触ってみる

→手が冷たくなることが予想されるため無理のない範囲やさむがる様子が見られたらお部屋に入れるようにしていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

バケツ、コップ、水

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

氷が出来る過程を知り触る事で冬ならではの自然を楽しむ。

また氷に触る事で指の感触を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

令和8年2月6日(金)

○テラスに水の入ったバケツやコップなどを用意する。

→簡単に氷が出来る仕組みを説明し保育者が「氷が出来ますように！」と言うと子ども達も真似して「できますように！」という姿が見られた。

令和8年2月9日(月)

○テラスに出て氷が出来ているか観察する。

→目で見た所氷が出来ているか分からない様子だった。

○氷を触ってみる。

→バケツの中に指を入れると氷が出来ていた。氷を取り出し子ども達に見せると指でツツンする姿が見られた。保育者が「つめたい？」と聞くと「冷たい」と答える姿が見られた。またつるつるし上手く持てない児が見られたため「つるつるだね」と言うと「つるつるしている」と指でこする姿が見られた。また触るのを戸惑う児も見られたが保育者や他児が触っている姿を見て一緒に触る姿が見られた。最後は「氷さんばいばい」と溶けていく氷も観察していった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段氷に触る機会があまりない為氷が出来ているのを物珍しそうに見る姿が見られた。初めは触るのを怖がる姿も見られたが他児や保育者が触っていくうちに怖がることなく触る姿が見られたため来年などまた氷に触れられる機会を作っていきたい。また氷がすぐ溶け始めてしまった為次回は氷が水になる過程なども観察していきたいと感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

影

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

広い園庭で日当たりもよく、身体を動かすことも増えてきた。影が出来たことに興味を持てるように立つ位置に配慮し全員でかけっこを行った。一列に並んだ際に影も並んでいて、気付けるような声掛けをしていった。

2. 活動スケジュール

令和8年3月18日(水) 1歳児 ひよこ組

○園庭遊びを行う

- ・園庭遊びの際に太陽の向きを考え影が出来るように立った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

太陽の向きを見て立つ位置を考慮した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園庭に出て過ごす。

遊びの中で全員でかけっこを行えるように線を引き、線の上に立った際に影が出来ていることを子ども達に伝えた。その中で、手を上げたり足を上げたりして影も同じ動きをしていることに気付けるようにした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・園庭に出てかけっこをする為に線を引いて、線の上に立った際に影が出来ていることに気付けるように声をかけていった。影を見て影を踏んだり影が動く様子に興味を持ち様々なポーズをする子がいた。

・数名影に興味を持たず保育士と同じポーズを取って楽しんでいる子もいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・影に気づき自分で好きなポーズをして、影遊びを楽しんでいる子がいた。
- ・影があることによって、踏んでしまうので踏まないように気を付けて歩こうとする姿があった。
- ・引き続き影遊び等を行って行き、カラーセロハンなどを使用し色の出方なども楽しめる様にしていく。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

秋の身近な自然に触れよう。
拾ったもので遊んでみよう。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
戸外で遊ぶ事を好む子が多く、体力作りやルールの定着を願って散歩に出る機会を多く持っている。身近な公園には、どんぐりが落ちていることが多く、発見したり探したりする楽しみを持っていたため、どんなどころに落ちているのか探しに行くようにした。

2. 活動スケジュール

2歳児うさぎ組

令和7年11月4日(火) 散歩 春江5丁目第二公園 「どんぐりを探そう」
令和7年11月26日(水) 散歩 春江5丁目第二公園 「色の付いた葉っぱを探そう」
令和7年12月24日(水) 制作 どんぐりキーホルダー作り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・散歩リュック (いつもより多めにビニール袋を持って行く)
- ・筒 (中に入れて転がす様子や音を聞いた)
(歌が好きだったこともあり、転がっていく音にも興味を示していた)
- ・紙粘土 麻ひも (粘土の感触も楽しみながら、自分の好きなドングリを選ぶ)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

身近な公園にてどんぐり拾いや落ち葉拾いを行い、観察をした。
後日、どんぐりを使って紙粘土でキーホルダー作りをしている。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

袋いっぱいにごんぐりを拾うことが出来たが、触ってみたり、転がしてみたり、大きさや色の違いに気付いたり、帽子が付いているものと付いていないものがあることや虫食い穴がある事に気付いていた。宝物のように粘土に埋もれさせている子もいれば、好きな形にちよこんとごんぐりを座らせている子もいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・記入している日程以外にも園外に出た時に木の実を見つけて「見てー!」と持って来る子が多くなり、木々を注意深く見るようになった。

言葉の獲得が増えたり、色が分かったりするようになり、始めは「ごんぐり」と呼んでいたが、「太ったごんぐり」「ぼうしつきごんぐり」「こわれたごんぐり」など、より説明のついている言葉で表現するようになった。持って帰れるように準備し、家庭でも楽しめるようにした。

・うた「ごんぐりころころ」を鼻歌の様に楽しむ姿も見られていた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

冬野菜の水やり

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園には、所有している畑と、区から借りている畑があり、今年は夏と冬に野菜を植え栽培している。

色々な野菜に興味を持ち、成長過程を見る事により野菜への愛着が湧き、少しでも食べてみようとする気持ちが芽生えるように働き掛けていきたい。

2. 活動スケジュール

令和7年12月2日(火) 3日(水) 3歳児ぱんだ組

○畑の水やりを行う。

・畑で栽培している野菜の成長過程を知り、率先して水やりをしようとする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

○準備物

・如雨露

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

クラス全員で区から借りている畑へ行き、冬野菜の水やりを行う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

12月2日(火)

○前日の帰りの会で、冬野菜の水やりを行う活動内容を子ども達に伝える。

・畑に植えている野菜を一つずつ伝えていくと、興味を持って話を聞く姿や、「ブロッコリー食べられるよ！」等と育てている野菜を食べられる事を保育士に伝える姿が見られた。

12月3日(水)

○出発前

・朝の会で畑に行く事を知らせ、改めて子ども達と一緒にどんな野菜が植えてあるのか確認していく。また、どんな形の葉があるか、どのくらいの大ききなのか等興味が湧くような働き掛けをしていく。

○畑到着

・栽培物の周りに座り、始めにどこにどの野菜が植えてあるか説明を聞いていく。
・保育士の話に興味を持って聞く姿があり「はやくみずあげたい！」と言う姿も見られた。

○水やり開始

・呼ばれたグループの児から順番に、友達と一緒に如雨露を持って野菜に水をあげていく。
・友達とどの野菜に水をあげるか相談しながら水やりをする姿や、優しく水やりをする姿が見られた。
・まだ水が掛かっていない場所に気が付くと「ここまだみずあげていないから、あげる！」と率先して水やりを行おうとする姿が見られた。

○水やり終了後

・「みずやりたのしかった！」と保育士に伝える姿があり、水やりの手伝いをしてくれたお礼を子ども達に伝えると嬉しそうに笑顔を浮かべる姿が見られた。
・その日の給食のメニューに、畑で栽培している野菜と同じ物は入っているのか子ども達と会話をしながら、収穫が楽しみになるように働き掛けていった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・同年の夏に、夏野菜をたくさん収穫出来た経験から、畑での野菜栽培に興味を持つ児が多く見られた。
- ・普段給食でも食べる事の多い野菜(ブロッコリー、キャベツ、玉ねぎ、)を育てている為、親しみやすく自分達で水やりを行う事によって愛着が湧き、収穫を楽しみに出来る事へ繋がると感じた。
- ・引き続き野菜の水やりや絵本・図鑑等を通して、色々な野菜に興味を持ち実際に食べられるようになるという所まで繋げていきたい。

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

落ち葉での制作

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園には大きな桜の木があり、春には綺麗な桜、秋には紅葉が見られる。紅葉した葉がたくさん園庭に落ちる為、自分で好きな葉を数枚拾い、落ち葉スタンプを行ってみる。

2. 活動スケジュール

令和7年11月12日(水) 3歳児 ばんだ組

○園庭に出て好きな落ち葉を数枚拾う。

・桜の木の落ち葉が毎日たくさん園庭に落ちていて、興味を持って拾っている姿が毎日のように見られた。その落ち葉で何かやってみたいと考え、季節の制作としてどんぐりを折り紙で作った為、落ち葉スタンプを行う事にする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【素材・道具】 ・落ち葉を入れるビニール袋 (個人で一枚)

【環境構成】 ・ビニール袋に名前を書いておく。

・自分で選べるように過剰な声掛けはせず見守っていく。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・園庭に落ちている桜の葉を集め、拾った落ち葉を使い秋の制作としてスタンプ遊びを行っていく。スタンプを行う際は、葉っぱに色をつけて画用紙に葉っぱの葉脈の模様が付くようにしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

○園庭に出る前

・落ち葉スタンプを行う事を伝え、好きな葉っぱを拾って良い事を伝える。子ども達同士で何枚拾おうかなど話が盛り上がっている。

○落ち葉スタンプの制作

・葉脈が画用紙に写るようにあまり水溶きをしていない、濃い目の絵の具を用意して落ち葉スタンプが行えるようにする。絵具が手に付くので気にする児も見られるが、葉っぱの模様が綺麗に写ると喜ぶ姿が見られた。

○落ち葉拾い

・桜の葉を拾っているが、紅葉している色にこだわりを持って拾っている児や、形・大きさを見て自分の好きな葉を選んでいる児、たくさん落ちている中からとにかくいっぱい拾う児と様子は様々であった。「先生、見て。」「こんなに拾ったよ。」「色が赤と黄色だよ。」など嬉しそうに見せに来る姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・落ち葉を拾って様々な遊び(おままごと、たきびごっこ、お化けの顔を作る等)に使用している姿は日々見られたが、ただ使うだけではなく、自分の好きな葉っぱを探すというところから始め、こだわりを持って拾おうとする様子が見られたことは、思い入れを少しでも持って制作に取り組むことが出来たのではないかと感じた。絵の具を使うとまた違った葉っぱの見え方・遊び方があることを一緒に感じる事が出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

きのこ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
クラスの園児がきのこの栽培キットを保育園に持ってきた。そこから「きのこ」について興味や関心が広まり、園外にてきのこを探し、どのようにきのこができているのか観察することになった。

2. 活動スケジュール

令和7年12月17日(水) 4歳児きりん組

◎戸外活動にてきのこを探す

- ・きのこが生えていそうな場所を自分で探し、きのこを観察する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

あらかじめ、きのこが育ちそうな公園を検討

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

散歩に行き木の近くできのこを探す。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

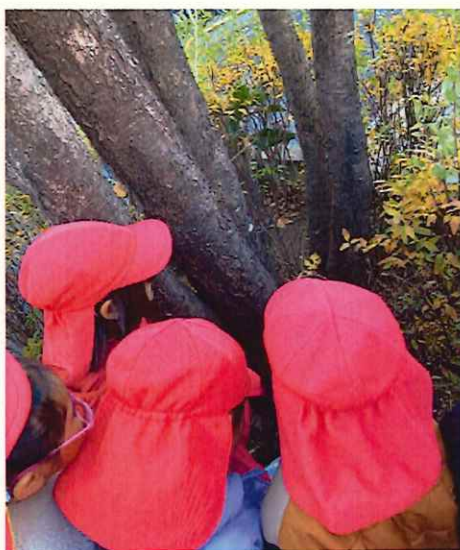
(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

あらかじめ、きのこが育ちそうな公園を検討した。

→みしま児童遊園・二之江さくら公園・しいのき公園と探したが見つからなかった。

保育者や友だちと一緒に、きのこが生えていそうな場所探したが、見つからなかった。

子どもたちからは「ないね」「なんでないんだろうね」など様々な声が聞かれた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・きのこ探しを期待を持って行えた反面で見つからなかったことで残念そうな表情が見られた。

見つからずに終わりにせずに、子どもたちの声を拾いながら今後どのようにしてきのこへの興味や関心が広げられるか検討していく必要がある。

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

きのこ(2)～栽培～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

きのこ探しを行い、見つからずに年を越した。
栽培キットを購入して育てることになった。

2. 活動スケジュール

令和7年1月21日(水) 4歳児きりん組

◎各グループに分かれ、きのこの栽培を行う。2種類「ぶなしめじ」「しいたけ」

・きのこの観察及び、1日に2回水をあげる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

きのこ栽培キット、霧吹き

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

2日に分けて、グループ決めや観察、育て方などを知らせて進めた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

栽培キットをあけるとすでに小さなきのこが生えており、子どもたちからは「おー！すごい！」「もーできてるね！」など様々な見た感想が聞こえてきた。今後の育て方や種類による育て方の違いなどを知らせ、観察や生長が楽しみになるように声掛けして進めた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

実際にどのようにしてきのこができるのかを不思議そうにしている様子が見られた。今から収穫することを楽しみにしており、子どもたち同士でもきのこの話を日常の中で話している姿も見られた。きのこが苦手な子も収穫する事は楽しみにしている。食育にもつなげていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

きのこ(3)～しいたけの収穫～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
栽培キットを購入して育て、収穫時期を迎えた。

2. 活動スケジュール

令和8年1月29日(木) 4歳児きりん組
◎各グループで毎日2回程度、水をあげた。
大きさも十分なため、収穫。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

きのこ栽培キット、霧吹き

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

グループに分かれて、一人一つずつしいたけをハサミで収穫する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

各グループで育て始め、次第に大きく育っていく様子を楽しみながら栽培できた。

毎日気に掛けており「今日水あげた？」と進んで取り組む姿が見られた。

収穫を前日に知らせると、楽しみにしており期待を持って臨んでいた。一人一つのしいたけを収穫することができ、喜ぶ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

毎日の生長を楽しみにしており、日々大きくなっていることに驚き喜ぶ姿が見られた。友だち同士での会話の中に自然と栽培しているきのこの話になったりと話題に上がる様子があった。収穫も前日から知らせていた事で期待を持って臨むことができ、一人一つ収穫できたことも喜んでいた。次回の食育へも繋がり期待感を十分につ事できた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

きのこ(4) ～食育～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
栽培したしいたけを食べる。

2. 活動スケジュール

令和8年2月2日(月) 4歳児きりん組

◎各グループに分かれる。

一人ひとつしいたけを洗う。

食べやすい大きさに裂く。

保育者が焼いた(バター醤油)ものを食べる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

事前に醤油とバター、紙皿にスプーンを購入した。又、給食室よりトングを借りた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

収穫したしいたけを一人一つ洗い、手で裂いて食べやすい大きさに千切る。
調理したしいたけを食べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子どもたちはエプロンと三角巾を着用し、収穫したしいたけを自分たちで洗い、食べやすい大きさに裂いた。最後は保育者がホットプレートで焼いて人数分を配り食べた。

活動前から、期待感を持って取り組むことができ、一人一つのしいたけを洗ったり、裂いたり出来た為、達成感も味わえた。焼くと匂いがしたりと五感で感じる事ができ「すごいね!」「においがするね!」「こうやってやるとうまくなるよ!」など様々な会話や声が聞こえた。普段きのこが苦手な児もお代わりするほどに進み、良い経験となった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

きのこ探しから始まり、栽培して生長を見守り収穫から食べるまでつながりを持って行えた為、最後まで飽きることなく参加し、興味や関心を持ち取り組んでいた。食育にもつなげる事ができ子どもの興味の持った事を突き止めていくことの楽しさ等を十分に味わえた。引き続き、日頃の子どもたちの声に耳を傾け、活動に取り入れていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0806
施設名	春江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区春江町5-2
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

落ち葉

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭に沢山木があり葉が落ちていたのを見つけ、落ち葉拾いに興味を持つ姿が多く見られていた。落ち葉拾いを毎日していくうちに色・形・大きさの違いに気付き興味を持つようになっていた。

2. 活動スケジュール

令和7年11月19日(水) 5歳児くじら組

- ・園庭遊びの際に、保育士が落ち葉拾いや集めを行い興味を持てるようにした。
- ・率先して拾い集められるような環境づくり。
- ・子どもの様子を見て、落ち葉の違いに気付き遊びを展開できるようにサポートした。

*11月～12月にかけての園庭遊びにて

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【素材・道具】

・ゴミ袋 ・熊手 ・ちりとり ・クレヨン ・紙 ・バインダー

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園庭に出て落ち葉拾いを行い、興味関心を持てるようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育士が落ち葉を拾い集めていると、ごみ袋の中に入れていた姿があった。始めは袋をいっぱいにした事を喜び達成感を感じていた。回数を重ねていくと様々な葉がある事に気付き、園庭に並べていた。その後保育士が園庭に丸や三角を描くとその中に集めたり、葉の形・大きさを見て顔を作っていた。またこすり出しをする子もいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保育士が行う事をよく見て気付き、始めは手伝いから入ったが子ども自身が色々と発見し、少しのサポートをする事で、興味関心がより深くなっていた。

今回は葉そのものを利用しての興味だったが、図鑑等を用いて自然全体への興味や関心を持てるようにしていきたい。